

取組みテーマ ⑦

歴史・文化を通じた地域の活性化

このはなアートプロジェクト
(此花区)

「このはなアートプロジェクト」(以下「プロジェクト」という。)は、区民主体の参加で、公共施設などの壁面に芸術性の高い作品を製作し、居住空間のなかにアートを取り入れることにより、区民が潤いを感じる場、区を訪れる人々が交流できる憩いの場を、創出していこうとする事業です。

此花区は、西六社に代表される重化学工業を中心とした一大工業地帯として発展してきましたが、大気汚染や水質の汚濁などの公害で区民が苦しんできた歴史も併せ持っています。このように区民が必ずしも親しみをもちにくい区のイメージを払拭し、地域の活性化やまちの賑わいを創出するためには、地域に誇りや愛着をもてる新たな区のイメージづくりが必要であり、アートを活かしたまちづくりを進めることは、区として大きな意味合いをもつものと考えています。また、昨今、文化や芸術の活力や創造性を、都市づくりに活かしていくことが広く時代の潮流になっていますが、それと軌を一にして、キタでもなくミナミでもない、大阪市の西端に位置する此花区という小さな地域から、アートによるまちづくりを発信していくことは、さらに意義深いものと考えています。

プロジェクトは、区の歴史や特性を踏まえ「エコ」、「花」、「つながり」を基本コンセプトとし、それをもとに、区民、芸大生、アーティスト、区職員などが参加する「アートワークショップ」により、大阪市立近代美術館建設準備室主任学芸員のアドバイスも得ながら、活発な議論のもとに企画が決定され、運営されています。このプロジェクトの特徴としては、コンセプトを踏まえ、区内にある舞洲陶芸館の協力を得て、例えば、海底から掘り出された土を使用するとともに、難波津焼の廃材をリユースするなど、エコを意識した活動を行っています。また、プロジェクトは、著名なアーティストが先頭に立って行うのではなく、誰もが自由に参加でき、参加する誰もが主役である、そんな活動です。壁面に使用する陶板づくりは、区民まつりや地域イベントの際に、「出張アート工房」で子どもから高齢者まで多数の人々の協力で進んでいます。まさに、地域の人たちと行政がいっしょになって創りあげていく市民協働の典型例ではないかと自負しています。

現在、プロジェクトは区民ホールと六軒家川堤防の壁画制作に続き、大阪市内では公立初の中高一貫校である「咲くやこの花中学校」1年生による人型壁画をはじめ、高見町公園、淀川堤防の壁画が順次製作中です。今後、此花第2 太平学園・区役所庁舎にも壁画制作を拡げていくこととなっています。



(左上から時計まわりに)
区民ホール、高見町公園、
淀川堤防、六軒家川堤防、
制作風景

すみよし博覧会

「観光区住吉」復活事業
(住吉区)

住吉区には紀州街道・熊野街道・磯鹺津路(しはつみち・住吉街道)の三古道が走り、近世の住吉は全国各地から大阪見物と住吉詣に訪れる観光地であり、戦後も「市内で最も優れた『観光区住吉』と住吉区誌にもあるように観光地として栄えた歴史を持っています。

そこで、平成 19 年度に「観光・集客のまちづくり」として住吉大社周辺・帝塚山地区において神社・お寺・飲食店など地元自慢の資源や人材の発掘調査を行い、これらの施設をパビリオン(展示館)と見立てた「すみよし博覧会」を開催、地元の情報発信するガイドブックを配布し好評を博しました。

平成 20 年度は、前年度の「すみよし博覧会」に参加・協力した地域住民と協働し「観光区住吉ラウンドテーブル」を立ち上げ、12 月に「すみ博Ⅱ」を開催しました。

このラウンドテーブルには、区民のボランティアガイドグループ「すみよし歴史案内人の会」や帝塚山音楽祭実行委員会、商店街や地域のキーパーソンが企画段階から参加し、イベント(オープニングイベント、寄席、ガイドツアー、すみよし検定、コンサート、スタンプラリー)や特別展示(ギャラリー、神社・お寺)を実施したほか、日程や協力施設等を掲載した「公式ガイドブック」を配布しました。

今後もラウンドテーブルを継続させ観光・集客の受け皿づくりをめざします。

北区歴史発信事業

(北区)

北区は大阪の玄関口として、また職住近接の調和のとれたまちとして発展してきました。特に経済・文化・芸能におよぶ重層的な歴史の厚みをもったまちで、大阪内外に広く知られる歴史的資源が存在する地域です。

以前から、北区ではガイドボランティアグループが発足し、区内の歴史や文化資源などを案内し、新たな魅力を見つけ出す活動を行っています。しかし、一般に知られていない歴史・文化資源はまだ存在するため、それらを掘り起こし、広く発信することで地域活動の活性化へつなげることを目的として、北区歴史発信事業を行うこととしました。

平成 20 年度は、専門的調査を実施するほか、地域住民参加のワークショップによる歴史情報の掘り起こしを行い、それらの情報を冊子にまとめ発信します。また、この事業のPRと北区の歴史に関する地域住民の関心を引き込むためのイベント(のこぎりコンサート、北区にまつわる落語の会、歴史講座)を開催します。

平成 21 年度については、平成 20 年度に掘り起した歴史文化情報をもとに、地域住民の方の意見を聞きながらガイドコースを開発して、それらをガイドブックにまとめ、北区の魅力ある観光資源として広く発信し各方面で活用してもらうことで、一層の地域の活性化を図ります。

